

施設名: _____

氏名: _____

1. HJ1.豊かな遊びと安全【川辺尚子講師】

問題	「豊かな遊び」と「安全」について、自園の環境で見直したいことについて考え、書いてみましょう。
回答	危険を排除しすぎて玩具や道具が少ない環境、約束事や制限が多い環境などから課題を見つけて、取り組みを考え、書けているとよい。

2. HJ2.身体を使った遊び1【吉田伊津美講師】

問題	多様な動きを引き出す指導(援助)のポイントについて述べてください。また、自身の保育や自園の環境を振り返り、多様な動きを引き出すために改善できること、工夫できることを考え説明してください。
回答	指導のポイント:レパトリーの多様さ及びバリエーションの多様さの両方、もしくはいずれかの観点から1つ以上挙げて説明していること(講座3)。 自園での改善・工夫:前半の回答を受け、実現可能かつ安全な改善点または工夫が挙げられていること。

3. HJ3.身体を使った遊び2【久津摩英子講師】

問題	「かれっこ やいて」のところで、①手首を返す動き②ほほを触る動きについて、どのように話していますか。①②各々について述べてください
回答	①今、日常の中で手首を返す動きは減っている。わらべ歌には遊びの中で、身体の機能を使う要素が入っている ②ほほの周りには筋肉があり、神経が通っている。そこが固くなると唾液が出にくくなるので、触って刺激を与えるのは身体にとって良い動作である

4. HJ4.言葉・音楽を使った遊び1【吉永早苗講師】

問題	子どもが表情豊かに歌唱するために、保育者はどのようなことを意識するとよいでしょうか。考えられることを3つ以上挙げましょう。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・一概に、「大きな声で」とか「元気な声で」歌うことを求めない。 ・保育者自身が曲を歌い込み、教材研究をしておく。 ・「このように歌いましょう」と表現を押し付けるのではなく、言葉の意味をわかりやすく説明するなどして、子どもが自ら表現を考えたいようになるよう工夫する。 ・ピアノ伴奏をするときは、音楽の表情を感受し、子どもの声をよく聞いて寄り添いながら演奏する。 ・歌詞に描かれた情景が思い浮かべられるよう、視覚的な工夫や体験を思い出すなどして、想いや意図をもって歌えるようにする。等

5. HJ5.言葉・音楽を使った遊び2【野口隆子講師】

問題	②言葉遊びを考え、やってみましょう。その上で子どもにとってどのような楽しみがあるか、考察しましょう。
回答	②講座2「絵本の魅力」で解説した言葉遊び(資料スライド25)の例を参照しつつ、独自に作り出せているとよい。また、子どもが身近な環境に興味や好奇心を持って関わり、感じたこと、考えたこと、経験したことを表現するものとなっているかについて、他児との言葉のやりとりを通じた心の交流となっているかについて、年齢に応じて模倣したり繰り返しを楽しんだり新しい言葉や表現に触れて使う楽しさを味わったりするなど、保育所保育指針等のねらいに応じた点が言及されているとよい。

6. HJ6.物を使った遊び1【花原幹夫講師】

問題	保育指針の1歳以上3歳未満児における保育内容表現での「ねらい」を述べなさい。
回答	①身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。②感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。③生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。以上の3つのねらいの内の1つ以上が示されていればOKです。

7. HJ7.物を使った遊び2【松本信吾講師】

問題	本講座を通して学んだ、次の2点について記述してください。 ①自然とのかかわりを深めるための保育者の援助としてどのようなことが大切かを述べよ。 ②自然とのかかわりを広げ深めるために、園内で見直したい取り組みやルールについて述べよ。
回答	①時間・空間・自由の保障や、子どもの感じていることを受け止めること、出会う機会を保障することなど、かかわりを深める援助をすることなどの内容について、自分が考えて消化した言葉で言及していることが望ましい。 ②回答者の置かれている環境に合わせて、学んだことをもとに、実現可能なことを具体的に記述できることが望ましい。